

CATERPILLAR®



CAT Ladies GOLF TOURNAMENT HAKONE JAPAN 2016

CATERPILLAR®



AUG. 19 FRI 20 SAT 21 SUN Daihakone Country Club

キャタピラー・ジャパン株式会社

本社 / 〒158-8530 東京都世田谷区用賀4-10-1
CATくらぶ編集室 TEL. 03-5717-1121 / 03-5717-1284

ホームページアドレス http://www.cat.com/ja_JP/

CATERPILLAR, Caterpillar, CAT, Cat及びACERTはCaterpillar Inc.の登録商標です。
REGA及びBUILT FOR ITはキャタピラー・ジャパン株式会社の登録商標です。

9100C0-92(0516)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC®認証用紙を使用しています。



CAT® くらぶ

2016
NO.
92

●お客様の現場から

「循環型社会」への 取り組みを支える

CATホイールローダ



「建設機械の点検・整備 / 現場の安全」のTOPに戻る



QUALITY
BUILT FOR IT.

長沢 洸見 「1つの宿題に 10通りの答えを出せるよう 自分を磨きたい」	P2
---	----

USER

お客様の現場から 「循環型社会」への 取り組みを支える CATホイールローダ	P4
---	----

SUPPORT

Special Issue エジプトの壮大な夢に挑む。	P8
see more プロサポ Tier4中古車の 再販価値向上をお手伝い	P10
CAT経営塾 建設労働者確保育成助成金の 改正について	P12
持っていますか？この資格	P13

INFORMATION

NEWS & TOPICS	P14
--------------------------	-----

「CATくらぶ」の記事がWebでご覧になれます

「see more プロサポ」「安全への視角」最新号分の記事をキャタピラー・ジャパンサイト「建設機械の点検・整備/現場の安全」コーナーに掲載しています。
「お気に入り」「ブックマーク」にぜひご登録ください。

http://www.cat.com/ja_JP.html

「1つの宿題に 10通りの答えを出せるよう 自分を磨きたい」

この4月で入社2年目を迎えた長沢セールスは、学生時代、吹奏楽部に所属してトランペットを吹いていました。「楽器は地道な練習の積み重ねが大切。粘り強く努力を続けていけば、良い結果につながる。セールスという仕事も同じだと思います」
機械はいきなり売れない。お客様のもとに通い詰めてニーズを感じ取り、さまざまな目線からの提案を繰り返してようやく一台の契約に結びつく。
「コツコツ型が自分のスタイル」と語る長沢セールスは、「最低でも毎日10件」を自らに課してお客様まわりを続けています。

BUILT FOR IT.[™]



日本キャタピラー 関東支社
千葉営業所

長沢 洸見
Hiromi Nagasawa

私は、昨年10月より千葉営業所へ配属となり、八千代市、習志野市のお客様のほか、解体・産廃関係の事業者様、約180社の営業を担当しています。入社後、半年にわたる新人研修を通して、建設機械を基礎から勉強し、運転免許を取得し、お客様との接し方やご提案の仕方などセールスの仕事や心構えを一通り学びました。研修で最も強く印象に残っているのは、先輩に連れられて実際に碎石現場を訪問させていただいたことです。広大な現場のあちこちでたくさんの大型機械が稼働する、そのスケールに圧倒されると同時に、事故を防止するためのルールや安全管理が行き届いており、安全の大切さを肌で感じました。お届けした機械を事故や故障から守り、安心して使い続けていただくために、定期サポートや診断サービスをご提案していくこともセールスの重要な役割だと思っています。

セールスも人それぞれ、スタイルはさまざまですが、私の目標は「お客様から1つ宿題を出されたら、10通りの答えを提案できる」セールスになることです。例えば中古車をお探しのお客様にも、リースやレンタルを利用した場合のメリットをご説明して、たくさんの選択肢の中から最も良いものを選んでいただく。「長沢に相談すれば、期待以上の提案をしてくれる」お客様にそう思ってもらえる存在になるためには一にも二にも勉強です。機械についてはもちろん、機械が稼働するさまざまな現場、個々のお客様のことまで広く深く知り、どのようなご提案をすればお役に立てるか判断できる力を身に付けなければなりません。まだスタートを切ったばかり、目標への道のりは長いですが、コツコツと粘り強く努力を積み重ねて、皆様から信頼されるセールスを目指していきます。



お客様の現場から

株式会社共同土木

建設系産業廃棄物の中間処理業者として50年の歴史を通じて着実に成長を遂げられてきた共同土木様。二代目社長として手腕を振るわれている岡林靖幸様と専務として経営をサポートされている弟の健二様と半世紀にわたる歩みや仕事へのこだわり、今後の課題などについてお話をうかがいました。

PROFILE



代表取締役社長
岡林 靖幸 様

株式会社共同土木

代表者：代表取締役社長 岡林 靖幸

本社所在地：埼玉県上尾市原新町26-1

設立：1973年(創業1965年)

従業員数：300名(正社員140名)

事業内容：産業廃棄物収集運搬・処理業、
汚染土壌運搬・処理事業、土木工事業等

URL：<http://www.kyodohdoboku.co.jp/>



東京中間処理工場



創業者である岡林満様の跡を継ぎ、現在は靖幸様(右)と健二様(左)が兄弟で会社を牽引されています

ダンプ1台で身を起こし、300人規模の企業に成長

共同土木様の前身「岡林組」が上尾の地で創業したのは1965年。前回の東京オリンピックの翌年のことでした。岡林靖幸社長、健二専務のお父様の岡林満様は、もともと廃棄物を取り扱う会社に所属していましたが、一大決心をして2tダンプ1台で事業を立ち上げたといいます。「息子の私が言うのも変ですが、父はとにかく真面目一本。何をやるにしても“きちんと”しないと気が済まない性格です。高度経済成長の追い風を受けながら仕事一筋、コツコツと誠実にお客様の信頼を積み上げてきたことが、今日の成長に繋がったのだと思います」とお話をくださったのは岡林靖幸社長。現在、満様は会長として第一線を退かれ、兄の靖幸様と弟の健二様に事業を託されています。

「良い環境は人々のモラルから創られます」という理念を、収集車両のドライバーから現場作業員の一人ひとりにまで浸透させ、地道に歩むこと50年。共同土木様は300人規模の企業へと躍進を遂げられました。平成以降は埼玉・千葉・

東京に各種廃棄物の加工・再生設備を備えた近代的な中間処理工場を開設し、関東一円をカバーする収集運搬・中間処理・リサイクル網を確立。建設系産業廃棄物の中間処理業者として官公庁や大手ゼネコンの指定を受け、「循環型社会」形成の一翼を担っています。

「かつてはお客様の現場で出た廃棄物を焼却したり埋め立てて処分するのが私たちの仕事でしたが、今はいかに廃棄物を再資源化し、処分量を減らすかが求められています。コンクリート殻は路盤材に、廃木材や廃プラスチック、紙関係は燃料に、鉄くずは新たな金属資源として徹底的にリサイクルします。そのために、当社でも全工場に多くの資本と労力を投じています」

そう語る専務の健二様は、18歳から家業に就きましたが、当時社長だったお父様に命じられた最初の仕事は、現場のゴミ拾いや選別作業だったそうです。

「廃棄物を再資源化するにしても最終処分するにしても、組成ごとの選別や不純物の除去は大変な作業です。当社でも自動化を図っていますが、人手に頼らざるを得ない部分はまだたくさんあります。地味で過酷な作業ですが、地

球環境の保全と資源の有効活用のためには手を抜くことができない仕事です」

「循環型社会」を舞台裏で支える作業員とCATマシン

専務の話を裏付けるように、千葉中間処理工場では多くの作業員とCAT油圧ショベルやホイールローダが、廃棄物の選別作業を行っていました。千葉市立自然公園に隣接して建てられたこの工場は、騒音やホコリの飛散を防ぐため、作業場の周囲に高い壁を巡らせています。混合廃棄物選別場では、作業員が手作業で粗選別した廃棄物を、312E、320D、910Kなどが最新の機械式選別ラインへ投入していきます。黙々と、そして着々と、作業は続けられています。「この工場に運ばれてくる廃棄物の量は、混合廃棄物だけでも収集車両にして1日平均120台程。その他にも廃木材やコンクリート廃材などは専用の作業場に運び込まれて、個別に処理されます。作業員も機械も手を止めているヒマはありません」

現場を案内してくださったのは北村和春係長。「作業場にはボルトやクギが転がっていることが



千葉中間処理工場で廃木材のリサイクルに活躍するCAT 312E (左)
廃木材は破碎装置で細かいチップに砕かれ、発電用の燃料として再利用されます(右)



New machine Pickup!

過酷な産廃現場にも多彩なオプションで対応する CAT® 910K ホイールローダ

運転質量	6,920kg
バケット容量	1.3m³
エンジン定格出力	72kW

※標準仕様(写真)の他に、除雪・畜産仕様もご用意しています。



選別後の廃プラスチックや紙くすを搬送するCAT 910K (ノーパンクタイヤ/ハイリフト仕様)



あります。1日に3回も4回もパンクしていたら仕事になりませんから、ホイールローダはすべてノーパンクタイヤに替えています。当社では他社の機械も使用していますが、CATのマシンは非常にタフで故障が少ない印象です。あとは快適さ。運転席が広々としているので長時間乗っていても疲労感が少ないとオペレータから好評です」

次々と搬入される廃棄物を、作業員、マシン、処理装置が歯車のように噛み合って選別・処理していく。その流れの中で、1台のマシンがストップすることは工場全体の生産性低下を招きます。

共同土木様では、日常的なメンテナンスはオペレータの皆さんが各自で行っているそうですが、定期サポート契約を結ばれ、2か月に1度はCATのメカニックが機械を隅々まで点検整備。コンディション管理に目を光らせています。併せてプロダクトリンクジャパンもご活用いただき、稼働している機械の各種データや運転状況をリアルタイムに収集・管理。本社、工場、日本キャタピラー営業所の三者で情報を共有し、不具合の兆候の早期発見や、消耗パーツの交換、省燃費で機械に負担が少ない運転の指導など、現場の運営管理に万全の体制を敷かれています。

CAT製品をご愛用いただいている理由を伺うと「トップブランドの安心感」という回答が専務から返ってきました。

「機械の品質や性能ももちろん大切ですが、当社のような過酷な現場では、いざというときに電話一本で素早く駆けつけてもらえるサービス網が何よりも重要になります。その点においてCATのサポートは安心感が違います。また、トップブランドの製品を使っていることで「この会社なら安心して仕事を任せられる」とお客様の信用を得ることもできます。そうしたイメージアップ効果も契約を獲得していく上で大きなアドバンテージになります」

廃棄物処理業界の課題とキャタピラーへの期待

誠実を第一とする経営理念を先代から受け継ぎ、ご兄弟が両輪となって今日まで成長を遂げてこられた共同土木様。しかし、産業廃棄物業界を今後も維持していくためには、「労働力の確保」という大きな課題が横たわっていると靖幸社長は語られます。

「人口の減少、現役の高齢化が進む中で、私たち

の事業に欠かせないドライバー、オペレータ、現場作業員、すべての人材が不足しています。新卒を採用しても、営業職や事務職はやるけど、現場で働きたいという若者はいません。どの業界も似た状況なのでしょうが、かつて3Kと言われたこの業界の人手不足はきわめて深刻です」

そうした時代背景の中で創業50年の節目を迎え、次の50年へと一歩を踏み出した共同土木様は、「オートメーション化&無人化の推進」を今後の重要課題として挙げられます。

「自動車の世界では、人がハンドルを握らなくても事故を起こさずに走れる時代がやってきました。そんなことが私たちの仕事——油圧ショベルやホイールローダのオペレーションでも早く実現できないだろうか」と心待ちにしています。特に建設機械のNo.1メーカーであり、バイオニアであるキャタピラーには、ぜひ先陣を切って無人化マシンの開発に取り組んで欲しいと期待しています」

キャタピラーはお客様の声をものづくりに反映し、さまざまな「世界初」を生み出してきました。長年にわたって培った開発力を活かし、これからも時代に先駆ける製品をお届けしていきます。



混合廃棄物選別場



(左より)千葉中間処理工場 北村和春係長、日本キャタピラー 関東支社 長沢セールス、向後博幸千葉工場長、オペレータの草間ジェームス様



環境性能と燃費効率を追求したCAT C3.8ディーゼルエンジン

クリーンな排出ガスと燃料消費量低減を両立したCAT C3.8ディーゼルエンジン。定評の電子制御テクノロジーに加え、NRS (NOx Reduction System)や最新のアフタートリートメント技術の導入により優れた環境性能を実現しました。



国土交通省指定
低騒音型建設機械



特定特殊自動車排出ガス
2011年基準適合車

機能を集約したマルチファンクションジョイスティック



作業機操作、前後進/速度段切替え、デフロックスイッチを1本のレバーに集約したマルチファンクションジョイスティックを搭載。また、作業機操作にはEHコントロール(電子制御)を採用し、軽快な操作感を追求しています。

CAT純正ノーパンクタイヤ

CATでは純正のノーパンクタイヤを取り揃えています。タイヤの側面に配した楕円形の横孔がクッションとなり、走行時の振動を低減させて快適な乗り心地を実現。また、この横孔はタイヤに掛かる負荷を分散させる効果も備え、耐久性を向上させます。



ノーパンクタイヤ

産廃現場向けアタッチメント

産廃現場向けにさまざまなアタッチメントを取り揃えています。

- キャンピ ●ハイリフト ●メタルスクリーン(防塵スクリーン)
- プレクリーナ ●幅広フェンダー



プレクリーナ

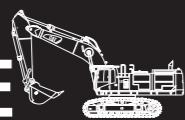


幅広フェンダー

Egypt Suez



SPECIAL ISSUE



エジプトの壮大な夢に挑む。

1869年、人類は歴史に残る一大事業を成し遂げました。アジアと欧州を結ぶ“海の大動脈”スエズ運河の建設です。その偉業から150年を経て、エジプトが新たに打ち出した「第2スエズ運河」プロジェクト。国家の威信を賭けた巨大工事を陰から支えたのはCATディーラーとCATマシンでした。

エジプトのスエズ運河は、アジアと欧州を結ぶ最短航路。スエズの地峡を南北に貫き、紅海と地中海を繋ぐ水路を築く工事には、かつて15年以上の歳月を費やしました。そのスエズ運河に沿って第2の運河を拓き、船舶の往来を倍増させる国家プロジェクトが立ち上がったのは2014年のことでした。

プロジェクトチームとして世界から40社以上が選抜された中で、浚渫工事を担当したのはルクセンブルクにあるJan De Nul社でした。

旧運河に並走する新しい運河を作るためには1億9,400万m³(旧運河の2倍以上)の土砂を浚渫する必要がありました。

工期は当初5年の予定でしたが、大統領の意向で1年以内の完成が求められたため、その作業を10ヵ月で終えなければなりません。

1日に65万m³もの大量の土砂を浚渫・排除するため、Jan De Nul社は吸引装置を備えた7隻の浚渫船を現場へ投入。さらに排出された土砂

の搬送部隊として200台に及ぶCATマシンを配備しました。それらの設備機器の調達やメンテナンス、総勢350人以上にのぼるオペレーターの運転トレーニングを実施し、Jan De Nul社の作業をバックアップしたのがCATディーラーのMantrac社でした。

油圧ショベルやホイールローダは、浚渫船に繋がれた搬送パイプの取り付けや切り離し、埋立地への土砂の運び出しに、ブルドーザは埋立地で土砂の敷き均し作業に用いられました。

Jan De Nul社のPieterjan Versteede マネージャーは語ります。

「工事は文字通り時間との戦いでした。機械にアクシデントが発生し、土砂の搬送や埋立作業が滞ってしまったら、浚渫船を止めなくてはなりません。200台に及ぶマシンを最高のコンディションで休まず稼働させ続けるために、私たちはMantrac社に全面的なプロダクトサポートを依頼しました」

夏場は気温が急上昇します。熱は機械にとって大敵ですが、中東仕様のCATマシンはパワフルな冷却システムを装備しており、大きな問題ではありませんでした。むしろ悩みの種となったのは、塩水と砂でした。

「塩水と砂は、足回りの摩滅や破損を頻発させます。また、10ヵ月にわたる浚渫作業の間、最大の稼働時間と最高の生産性をキープするためには、ラジエータなど各部のサビ、エンジンやトランスミッションへの砂の混入や固着にも絶えず目を光らせていなければなりません」とPieterjan Versteede マネージャーは補足します。

そこでMantrac社は、現場内に1000m²のプロダクトサポートステーションを建設しました。わずか27日で完成したそのステーションは、あらゆる機材を完備したサービス工場、部品倉庫、20人のエンジニアとメカニックが常駐するための宿泊コンテナを備え、Jan De Nul社の作業を24時間支え続けました。

浚渫作業は1日に120万～140万m³と当初の目標(65万m³)の倍のペースで進み、「第2スエズ運河」は予定の工期内に完成しました。

新たに切り拓かれた水路によって、船舶は同時に両方向への航行が可能になり、待ち時間は4分の1に短縮、交通量は1日約50隻から100隻に倍増しました。

「新運河事業の成功は、エジプトに新しい発展のチャンスを生み、欧州・アジアの国々や人々にも大きな恩恵をもたらすことでしょう。Mantrac社は30年間の付き合いですが、今回も素晴らしい仕事をして私たちを助けてくれました」

無事に大任を果たしたPieterjan Versteede マネージャーは最後にそう語ってくれました。

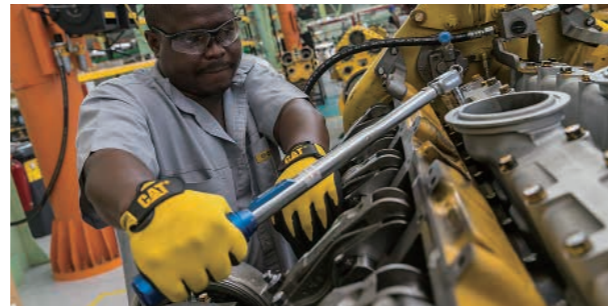
“偉業”と呼ばれる大きな仕事を成し遂げる。そのためには、多くの企業が力を合わせる必要があります。キャタピラーは建設機械のリーディングカンパニーとしてつねにその一翼を担い続けます。



see more **プロサポ**

Tier4中古車の再販価値向上をお手伝い

一度購入した機械は、できるだけ長く愛用したい。
短期間で下取りに出して、どんどん新しい製品に乗り替えたい。
機械の買い替えに対する考え方は、人それぞれですね。
今回は、価値ある中古車の流通をサポートする
キャタピラーの新しい中古車流通ソリューション
「De-Tier (ディテア)」についてご紹介します。

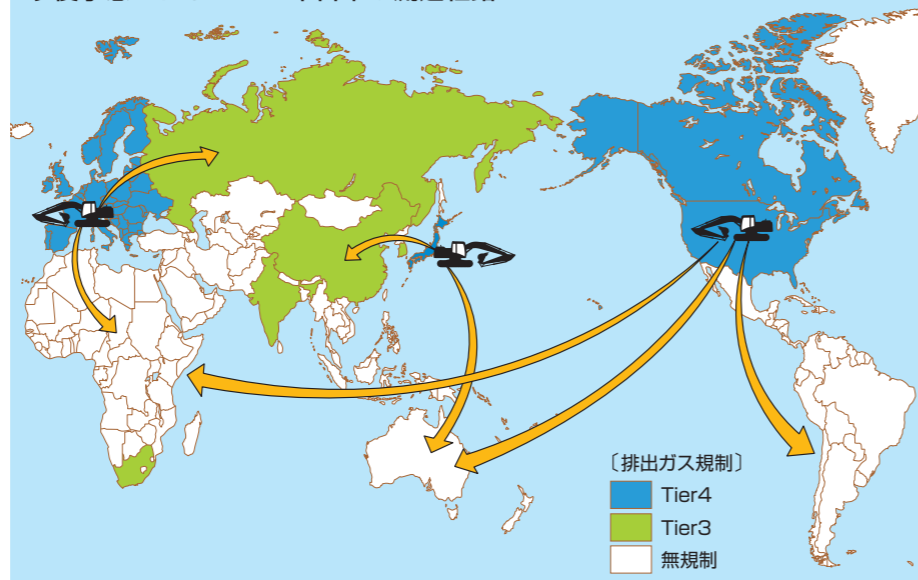


Tier4中古車流通ソリューション「De-Tier」

日本や米国、カナダ、ヨーロッパなど、排出ガス規制が厳しい国々で稼働する建設機械は、Tier4(日本ではオフロード法2011年および2014年基準)に適合した高性能エンジンを搭載しており、高品質の「超低硫黄ディーゼル燃料」を使用しています。こうしたTier4エンジンを搭載した機械を、規制が厳しくない(もしくは規制がない)国で使用すると、燃料が劣悪であるためエンジントラブルを起こすことも少なくありません。

そうしたトラブルを防ぐために、キャタピラーでは、Tier4エンジンを搭載した中古車を海外のマーケットへ流通させる場合、エンジン仕様をその国の排出ガス規制に合ったレベルへ変更するソリューション「De-Tier」をご用意しています。

世界における排出ガス規制の相違と
今後予想されるTier4中古車の流通経路



Tier4に対応したCAT製品は全世界に約82,000台あります。現在は、主に青い地域(排出ガス規制の厳しい国)で使用されていますが、今後、それらが中古車となり、規制の厳しくない地域へ流通していくことが予想されます。

国によって大きく違う燃料品質

低規制国あるいは無規制国で使用されている燃料は、規制が厳しい国の燃料に比べて一般的に品質が低く、また安定しない傾向にあります。

燃料品質

燃料品質とは以下の要素に基づいています。



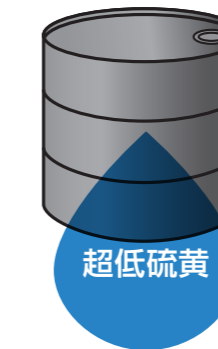
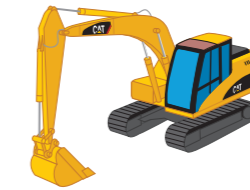
- 燃料中の硫黄分のレベル
- 燃料の化学成分、例としてはT90と称される沸点
- 燃料中の汚染物(固形物、水分を含む)

Tier4エンジンを搭載した機械を低規制国や無規制国へ中古車として輸出する場合、その国に仕様を合わせるための「De-Tier」の対応は海外の現地CATディーラーにおいて実施します*。

*日本国内で「De-Tier」のような仕様変更を施すことは法律で禁止されています。

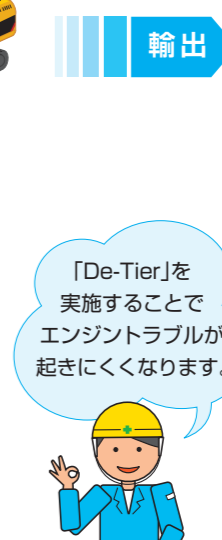
Tier4

排出ガス規制が
厳しい国



De-Tier

稼働する国や地域に
合わせた仕様変更



「De-Tier」の具体的な対応とメリット

「De-Tier」のメリット

- ①Tier4中古車を売却・輸出する際、輸出先が低規制国なども含めた地域にまで広がり、選択肢が広がる。
- ②お客様の中古車の再販価値を高く維持できる。

たとえばCAT 320E油圧ショベルの場合、次のような仕様変更を施します。



- 一部センサー類の交換
- マフラー関連(DPF含む)の交換
- 燃料ホース関連の交換
- ウォーターセパレーター関連の交換
- ソフトウェアの書き換えなど

排出ガス規制基準に関わらず幅広い国々に輸出可能

〔再販価値向上〕



キャタピラーは、お客様の中古車の円滑な再販をお手伝いし、価値あるTier4製品を広く流通させていくため、企業レベルでソリューションの開発を進めてきました。今回ご紹介した「De-Tier」は、その成果の一つです。

私たちはこれからも信頼されるパートナーとして、ファイナンス、メンテナンス、車両管理ソリューション、部品供給など、機械のランニングコストを低減するさまざまなサービスを提供し、お客様の持続的な成功を支援してまいります。





建設労働者確保育成助成金の改正について

景気回復に伴う求人増で、就職率は2011年から4年連続で上昇。昨年の就職戦線は、過去最高だったリーマンショック前の2008年に次ぐ、高水準の売り手市場になったそうです。そんな中、雇用確保を支援する「建設労働者確保育成助成金」が、4月より一部改正されました。新たに追加されたメニューや見直された内容を把握して、人材の確保や育成に役立てましょう。



1 建設労働者確保育成助成金の主な改正内容

建設労働者確保育成助成金とは、建設業に携わる中小企業の事業主やその団体が、従業員のスキルアップ・キャリアアップのために技能講習・特別教育・安全衛生教育を受講させた場合や、雇用促進の改善措置などを行った場合に、経費や賃金の一部を助成する制度です。

本年4月1日からの改正では、主に「若年労働者の確保・育成」と「女性労働者の活躍の推進」を目的として、新たな助成メニューの追加や見直しが行われました。

新たに追加された助成メニュー

●登録基幹技能者処遇向上コース

中小建設事業主が雇用する登録基幹技能者の「賃金テーブル」または「資格手当」を増額改定した場合に助成を受けることができます。

[主な要件]

- ①賃金テーブルの増額
 - ・基本給単価を3%以上増額
 - ・年間の基本給を3%以上かつ15万円以上増額
- ②登録基幹技能者手当の増額
 - ・月額12,500円以上かつ年間15万円以上増額

[助成額]

登録基幹技能者 1人当たり **年額10万円**

2年目、3年目も同様に増額改定する場合はそれぞれ年額10万円の助成を受けることができます



●女性専用作業員施設設置コース

中小元方建設事業主が自ら施工管理する建設工事現場に女性専用の作業員施設を整備した場合に助成を受けることができます。

[対象施設]

トイレ、更衣室、シャワー室、浴室

[助成額]

施設の賃借料の **2/3**

(年間上限額 1事業所当たり60万円)



女性専用
Women Only

女性が安心して力を発揮できる建設現場を！



見直しがあつた助成内容

●技能実習コース(経費助成・賃金助成)

中小建設事業主が雇用する建設労働者に対して、技能向上を図るために技能講習、特別教育、安全衛生教育を受講させた場合に経費・賃金の一部が助成されます。

なお、申請対象者は中小建設事業主で、雇用保険の保険料率が1.4%(2016年度)となっています。

[経費助成] 受講料(消費税を除く)の約80%

[賃金助成] 平均賃金日額(限度額8,000円)×受講日数

※受講開始日の1ヵ月前までに管轄する労働局への計画届が必要です。

○技能実習コース以外にも変更された項目があります。詳しくは厚生労働省の建設労働者確保育成助成金のホームページをご覧ください。

○助成を受けるためには事前に申請が必要です。申請については、労働局またはハローワークにお問い合わせください。

★新たに追加された項目

主な改正内容
助成対象の実習内容
①技能等の習得に関する実習
②技能等の指導方法改善に関する実習★
技能検定に関する講習(通学のみ)*
対象者と助成割合
①中小建設事業主・団体 [助成率 8~9/10]
②中小建設事業主・団体以外★ [助成率 5/10]*
(②は女性労働者を対象とする場合のみ)

※本年4月1日以降に提出される計画届に基づく技能実習から適用されます。



2 人材を育て、女性が活躍できる仕組みづくりを

最新の国際的な労働力調査によると、日本は世界で最も人材不足が深刻な国だといえます。少子化による若年層労働者の不足、売り手市場の競争戦の中で、将来を担う人材を確保していくことは、建設業にとって

大きな課題です。助成制度をしっかりと活用して、若者の向上心に応え、ステップアップをサポートする仕組みづくり、女性も安心して快適に働くことができる環境づくりに取り組んでいきましょう。

助成金改正についての詳しい情報はこちらをご覧ください



厚生労働省 建設労働者確保育成助成金 検索



持ってますか?
この資格

はい作業の話

「はい作業」という言葉をご存知ですか？倉庫などで働いている方にはなじみのある専門用語ですが、俵や原木をきれいに山積みした状態を指す「はえ」や、荷を高く積むことから英語の「High」など、語源にはさまざまな説があるようです。今回は、その「はい作業」についての話です。



●はい作業主任者の主な業務

- ①作業の方法および順序を決定し、作業を直接指揮すること
- ②器具および工具を点検し、不良品を取り除くこと
- ③作業を行う箇所を通行する労働者を安全に通行させるため、必要な事項を指示すること
- ④はいの崩壊の危険がないことを確認した後に作業の着手を指示すること
- ⑤はいの上で作業を行う場合、作業箇所の高さが床面から1.5mを超えるときは、労働者が安全に昇降するための設備および保護帽の使用状況を監視すること



はい作業
主任者技能講習の受講には
3年以上の実務経験が
必要です

はい作業では、扱う荷の品目や荷姿によって人力で行う場合と、荷役機械を用いて行う場合があります。また、使用される荷役機械も、フォークリフトのほか、クレーン、移動式クレーン、コンベヤーなどがあり、それらが組み合わされるケースも多くなっています。

はい作業は、はい付けの仕方が悪いと自重によって荷が崩れて重大な事故につながったり、墜落・転落災害、飛来・落下災害、機械災害を伴う危険性の高い作業であることから、経験が豊富で、十分な技能と安全管理についての知識を有する者が指揮をとることが災害を防止する上で不可欠となります。

このため、労働安全衛生法(第14条)では、積荷高さが2m以上のはい付け作業、はいくずし作業を行う際には、はい作業主任者技能講習を修了した者の中から作業主任者を選任し、作業員への指揮を行わせることが定められています。



はい作業を行う場合、安全対策をおろそかにすると致命傷や大怪我を負う事故につながりかねません。2m以下のはい作業においても、はい作業主任者技能講習を修了した方の指揮の下で作業を行うことをおすすめします。



はい作業主任者技能講習について

キャタピラー教習所では、はい作業主任者技能講習を定期的実施しています。

この講習では、はいに関する知識や、人力や機械などによるはい付け、はいくずしの作業に関する知識など、はい作業主任者として知っておかなければならないことを13時間の講習(修了試験1時間を含む)で学ぶことができます。ぜひ、お近くのキャタピラー教習所までお問い合わせください。

労働災害を起こさないためにも、はい作業主任者技能講習を受講し、正しい知識を身に付けて作業を行いましょう。それでは「今日も一日ご安全に!!」

はい作業主任者技能講習	受講時間	受講資格
はいに関する知識	3時間	はい付け、またははいくずしの作業に3年以上従事した経験を有する者
人力によるはい付け、またははいくずしの作業に関する知識	5時間	
機械などによるはい付け、またははいくずしに必要な機械荷役に関する知識	3時間	
関係法令	1時間	
修了試験	1時間	

技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /
キャタピラー教習所株式会社

本社：〒252-5292 神奈川県相模原市中央区田名3700
TEL 042-763-7130 FAX 042-763-7104
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は

キャタピラー教習所 検索



NEWS & TOPICS

お客様とキャタピラーを結ぶ拠点 秩父ビジターセンター

豊かな自然の中で“見て・乗って・学べる”

秩父ビジターセンター（埼玉県秩父市）は、CAT製品やキャタピラーの最新技術に触れることができる、アジア最大級の「建設機械総合体感センター」です。“見て・乗って・学べる”をコンセプトに、デモンストレーションや試乗、さまざまなセミナー・研修などを行っています。さらに昨年11月には、お客様の機械を多角的に分析し、タイムリーなサポートを実現する「コンディション・モニタリング・センター（CMセンター）」も新たに開設。お客様とキャタピラーを結び架け橋となる場としてはもちろん、ソリューション発信基地としてもいっそう進化を遂げました。ぜひ一度、お立ち寄りください。



お客様の個々の課題に合わせたソリューションを提供

キャタピラーの「Seeds（保有製品や技術）」を紹介するだけに留まらず、お客様の「Wants（望むこと）」に直結したプログラムを開発・展開していきます。



試乗や安全講習会など、さまざまなプログラムをご用意

全天候型パノラマ観覧席(約150名収容)

[見て]

製品ラインアップデモンストレーション、用途別デモンストレーション

[乗って]

試乗（性能確認、機種マッチング）

[学べる]

各種セミナー&研修（オペレーティング研修、安全講習会）



「春休み・ちびっこ建機フェア 2016」開催！ 今回もたくさんのご家族にご来場いただきました。

秩父ビジターセンターの人気イベント「ちびっこ建機フェア」が、去る3月29日(火)・30日(水)の2日間、初めて春休みに開催され、今回も好評を博しました。

「ちびっこ建機フェア」は、次世代を担う子供たちに、普段は目にすることができない建設機械を間近で体感してもらうことを目的として定期的に開催し、毎年1,000名以上のご家族にご来場をいただいています。

イベント当日は好天に恵まれ、延べ320名を超えるちびっ子とご家族で賑わいました。

大きな建設機械の迫力あふれるデモを見て、車体に触れたり、運転席にすわったり。盛りだくさんのプログラムを体験して春休みの楽しい思い出を作りました。

★次回もたくさんの方のご来場をお待ちしています。



「夏休み・ちびっこ建機フェア 2016」開催について

まもなくWebサイトで
次回の応募方法を掲載します。
どうぞ、お楽しみに！

<https://www.nipponcat.co.jp/>

夏休み・ちびっこ建機フェア2016

* Present ご愛読者プレゼント

「CATくらぶNo.92」はいかがでしたか？
右記のメールアドレスに、ご意見・ご感想をお寄せいただいた
皆様の中から抽選で3名様に
CATグッズをプレゼントいたします！

【賞品】
CAT 930K
スケールモデル 3名様
ディテールまでこだわった
1/50の
スケールモデルです。



お届けの際、賞品の色などが見本と異なる
場合がございますが、あらかじめご了承ください。

【応募要領】
必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。
■お名前
■会社名
■ご住所
■「CATくらぶ」へのご意見・ご感想
■連絡先のお電話番号

〈応募先アドレス〉
◎メールアドレスが変わりました。
cat-club-japan@cat.com
〈応募締切〉
2016年7月22日(金)

◎ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。
ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。 http://www.cat.com/ja_JP/legal-notices.html#privacy



秩父ビジターセンター・スタッフ



皆様のご来場を
お待ちしております！



●秩父ビジターセンターのホームページはこちら！
<https://www.nipponcat.co.jp/cvc/>